ふかまちのまど

第一九三号　一〇年六月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三―三八八二

連合町内会活動報告

ターゲット・バードゴルフ大会

ターゲット・バードゴルフ担当　天木　雅之

第六回三原市民ターゲット・バードゴルフ大会が五月九日（日）、三原運動公園多目的広場において開催されました。

三原市内より二十六チーム総勢七十八名の参加がありました。深町からは四チーム十一名の選手が出場しました。

成績は次の通りです。

◇団体の部
準優勝　高崎修・谷岡義昭
四位　天木雅之・志水孝則・綱掛正志
八位　巻幡幸秀・林洋祐・頼兼義詔
十六位　佐野容子・岩野秀明・石井張司

◇個人の部
三位高崎修、六位谷岡義昭
七位巻幡幸秀、十位佐野容子
※敬称略

一年を通して練習及び他の団体の大会に参加して技術の向上に努めてまいりましたが、長年続けてきました連覇にはなりませんでした。次回大会に向けて練習に励みたいと思います。出場いただいた選手のみなさん、農作業等何かと忙しい中、大変ご苦労様でした。

▲▲

町民会館だより

運営委員会開催

町民会館長　中村　純

平成二十二年度町民会館運営委員会を四月二十五日（日）に開催しました。主な議事は次のとおりです。

一、平成二十一年度使用状況
年間総人数　一七七〇人
年間総回数　一〇七回

二、平成二十一年度会計報告

平成21年度深町町民会館会計収支決算書

収入		支出	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
繰越金	301,928	電気代	73,817
委託金	227,695	ガス代	23,312
会館使用料	0	水道代	33,678
利子	96	灯油代	3,744
		浄化槽管理費	88,295
		消耗品費	1,038
		事務費	1,382
		営繕費	158
		次年度繰越金	304,295
合計	529,719	合計	529,719

三、深町町民会館管理運営規定の一部改正

第二条一、会館の管理・運営は町内会連合会の責任において行うものとする。

一、会館の管理・運営は連合町内会の責任において行うものとするに改める。

第三条（一）館長一名（各町内会長の中より選出する）を

（一）館長一名（連合町内会会長を充てる）に改める。

（二）副館長二名（連合町内会会長を出さない各町内会会長を充てる）に改める。

第五条（四）町内会連合会事務局長を連合町内会事務局長に改める。

（十）消防団長を消防団分団長に改める。

四、その他念願のカーテンについては、運営委員会において、すでに新しいカーテンに決定しましたので、新しいカーテンに致しました。

▲▲

深小だより

『危機意識と危機管理』

深小学校長　山本　惠司

五月二十日付け、中国新聞の見出しの一部です。

『足りぬ危機意識』これは、宮崎県都農町で下痢症状の牛三頭が確認され、四月二十日になって、この牛は口蹄疫」と確認されました。現在、口蹄疫感染確認点から半径十㎞圏内にいる牛や豚をすべて殺処分することにより、今後の酪農家の対策が遅れ、活れた日本の生産そして大果てのの食肉にも大きな影響がでしょう。また、日本国内で「新型インフルエンザ」が発生し、大混乱だけでなく、砂崩れとい最近は「ゲリラ豪雨」という用語も聞くようになりました。

昨年は、日本国内で「新型インフルエンザ」が発生し、大混乱だけでなく、砂崩れとい最近は「ゲリラ豪雨」という用語も聞くようになりました。

六月に入り、梅雨を迎えますと大雨・洪水・土砂災害が発生するのも心配です。風が強い台風の季節でもあります。

学校においてまず第一は『子どもの安全』です。常にあらゆる危機を想定してシミュレーションを施し、事案発生の場合は、迅速且つ適切な初期対応がとれるよう肝に銘じておきたいと思います。

▲▲

深小ＰＴＡだより

子ども達は地域の方々に見守られて

深小学校ＰＴＡ会長　福島　和加子

皆さんはじめまして。今年度、深小学校ＰＴＡ会長を務めさせて頂くことになりました福島和加子です。この一年間どうぞよろしくお願いいたします。

私も深町で子育てを始めてから十六年が経ちました。その間、我が家の周辺の様子も随分と変わりました。深小学校の児童数が増えていることからも分かるように家並みも変化しました。登下校する子ども達の話し声も年々賑やかさを増しているような気がします。

私自身はいわゆる下町育ちですので、実家近くには商店街があり、登下校の際には近所の大人達の「おかえり！」「いってらっしゃい！」の声に包まれて育ってきたように思います。

地域の方々に見守られていたものです。今更ながら、地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

子育ての主体は学校の先生方や地域の方々の温かい支えがあってこそ、子どもも達は安心してのびのびと育っていけるものだと思います。

ひとりの子どもも達へのお声掛けをお願いできれば幸いです。

最後になりましたが、深小学校ＰＴＡの活動に際しまして、ただただ力いっぱいの積み重ねが「子どもと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

▲▲

連合町内会等代表者は次の方々です。

連合町内会長　中村　純
上組町内会長　中村　純
中組町内会長　麓　正徳
下組町内会長　寺田　弘
町民会館長　中村　純
農業振興協議会長　村上　徹郎
水利組合長　石井　静夫
消防団深町分団長　藤川　敏和
尚寿会長　原　勇吉
女性会長　村上　孝子
はなみずきの会深町支部長　林　一恵
壮青会長　天木　雅之
子ども会長　松本　雅志
深小学校長　山本　惠司
深小ＰＴＡ会長　福島和加子
如水館中学・高校長　高橋　秀幸
サンライズ大池施設長　金春　省三
ピッコロ施設長　吉永　正宣
※順不同・敬称略

謹んでお悔やみ申し上げます

助永　三郎　様　八八歳
（下組　四班）　五月十六日

深町各種団体六月行事予定

◆連合町内会
▼市民ゲートボール大会　二十日

◆小学校・幼稚園
▼保健実習　一～三日
▼歯磨き指導㊍　三日
▼交通安全教室　四日
▼体重測定㊍　七日
▼集金日・諸雑費集金日㊍　八日
▼二中保育体験実習㊍　九日
▼耳鼻科検診　十一日
▼広響鑑賞会　十五日
▼放課後子ども教室　十六日
▼眼科検診・ぴよぴよハウス㊍　十二日
▼クラブ活動　二三日
▼参観日・救急法　二五日
▼誕生会㊍　二九日

◆如水館中学・高校
▼消防訓練　八日
▼振興会総会・保護者会　十一日
▼校内大会　十七日
▼期末試験　二八～三十日

展望席

田植えもほぼ終わり、ホッと一息入れておられる農家の方もあると思います。ホッとする間もなく、これから稲の病気、害虫や水の心配、鳥獣被害対策等、米を収穫するまでのひと苦労は実際に米作りに従事した者でないと分からないのではないかと思います。

私のような零細農家は、毎年農業収入は慢性的な赤字です。日本政府は、厳しい仕分け作業を行っていますが、この仕分け作業にあうと、我が家の農業はたちまち事業廃止とされる運命にあります。それでも農業を続けるにはいろいろ訳があります。①苦労しても農作物を作る楽しみがあり、安全安心でお美味しいものを作りたい。②先祖が苦労を重ねて開拓した田畑を守っていく。③何も作らず放置をしていると、田畑は草の山、やがては草木の山となり、もはや手がつけられない荒地になり、また、近所の田畑へ害虫被害が及ぶことになる・・等々。

国の予算は国民の血税ですので、無駄のないように厳しく仕分けをして頂くのは当然かと思いますが、我々庶民は、日々の生活で、少しばかりの無駄やゆとりも時には必要だと思います。「仕分人　妻に比べりゃ　まだ甘い」というサラリーマン川柳がありましたが、こんな厳しい奥さんや旦那さんばかりでは、お互いストレスがたまり生きがいを失うような気がします。

多少のムダ・ムリ・ムラのある生活がある意味「また楽しからずや」ではないでしょうか。

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

森とともに生きる④

中組　安藤　志保

ブラジルと言えばサッカー。バスで移動する時、田舎のどんな小さなコミュニティにも必ずサッカーコートがありました。一緒に植林した小学生の男の子に「好きな遊びは？」と訊くと「さっかー！」。趣味・娯楽というよりも「愛されている」印象です。

そしてもう一つブラジルといえばコーヒー！生産量・輸出量ともに世界一！日本が輸入しているコーヒーもブラジル産が一位です。そのコーヒーの多くは原始林を焼き払った土地で栽培されています。整然とコーヒーの樹が並ぶプランテーションも車窓から見ましたが、私が訪れたジヤカランダ農場は、森の中にコーヒーの樹も植わっている感じのコーヒー園。不可能と言われたコーヒーの無農薬有機栽培、そして森林農法を実践しておられます。草刈りや収穫などすべての作業に手間がかかりますが、環境、働く人への影響を考え、あるスタッフ、飲むことを選ばれたそうです。

農薬をやめたそうですが、調査によると森林農法のコーヒー園では、コーヒー単一の農園に比べ一〇〇倍もの鳥類が確認されたそうです。

赤く色づいたコーヒーの実は宝石のよう。大きなザルにのせた実を器用に高く放り上げ葉っぱや小枝を取り除く

広いコーヒー園で植樹をし、拠点の家まで戻るうちに日がとっぷり暮れて真っ暗に…。見上げると宇宙に放り出されたかのような見事な星空で、みんなで歓声をあげました。

世界では石油に次ぐ取引規模を誇るコーヒーですが、生産農家の〇・一～三％。貧しい地域が多く食料援助を受けながらコーヒーを作っている場合もあります。物価が大きく違う途上国と先進国との間の貿易では途上国が不利益を被る事が多く、その現状を変え環境や生産者の暮らしを守ろうというフェアトレード（公正貿易）商品がコーヒーに限らず徐々に広がっているので応援してください。

（次号へ続く）　▲▲

深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましょう

深小の子どもは

○午後四時二十分頃 下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

千川神社本殿修繕等について

千川神社責任役員
西本一二三

平素は千川神社行事に、ご協力を頂き役員一同感謝申し上げます。

すでに別途書面にて、千川神社本殿屋根等の大修繕に伴う費用として、一戸当たり一万円のご出宝につきましてご無理をお願いしているところですが、町民の皆様方の暖かいご理解とご協力を賜りますよう重ねてよろしくお願い申し上げます。

なお、平成二十一年度の決算を次のとおり報告させていただきます。

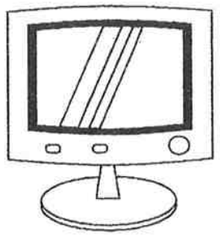
平成21年度決算書（千川神社　20104.1）

収入の部		支出の部	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
繰越金	186,700	神饌料（祭典費）	29,000
利息	59	行事費	265,528
賽銭	27,881	幣帛料（宮司手当）	30,000
雑収入	29,500	人夫費	11,400
宮入費	263,000	会議費	4,141
		電灯費	4,366
		事務費	2,500
		備品費	13,000
		修繕費引当金	62,735
合計	507,140	合計	422,670
		繰越金	84,470

深町テレビ組合の解散について

組合長　高崎　修

当組合は本年始めから開始した地上デジタル化工事の完了により、五月二十九日の解散総会をもって解散しました。当組合は昭和五十五年五月に深町中組・上組の住民を対象として設立されました。



平成五年には受信困難の時期があり、組合員が半減して五十名程度となってしまうこともありました。親局も変更になりました。

平成十四年には送信アンテナが二十二年経過して老朽化したため建て替えを行いました。多額の負担が必要でした。

その他、折々に種々の問題が発生しましたが、何とか切り抜け、三十年間に亘り、難視聴の当地区に放送文化を中継するという役割を果たして、この度めでたく幕引きをすることになった次第です。

長年に亘る御支援、御協力に感謝し、解散にあたっての御挨拶といたします。　▲▲

歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

月日　六月八日（火）

行程

八時　上組公民館出発（車）

九時　摩訶衍寺（まかえんじ）到着
　　周遊開始（徒歩）

十一時　周遊終了

十二時　上組公民館帰着（車）　▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

七色のチューリップの丘見事なり
　世羅の台地に人はあふれて

久し振り初夏と言うべき日和なり
　畑の草取り汗にまみれて

不順なる気候にめげず七五才
　バイクに乗りて買い物に行く　▲▲

ヌートリア出没

深町上組公民館の近くの川にヌートリアが出没しています。繁殖旺盛で農作物への被害も甚大とのことです。

三原市役所へ通報、早速農林水産課員が現地調査し、駆除対策が計画されています。

（上組　紙谷謹二）　▲▲

如水館高校に入って

如水館高校一年S類
斎藤　達也

私が如水館に入ろうと思った理由は簡単だ。如水館高校に魅力を感じたからである。如水館高校には学力別でクラスが分けられており、生徒が自分にあった勉強をすることができるので、自分も勉強をがんばれるだろうと思った。

入試のときは緊張したが、「絶対にこの高校に行きたい。」と思って万全の態勢で臨むことができた。受験勉強時間など、いくつかの不安要素はあったが、何とか合格することができた。

わたしが、如水館高校に入っての抱負は、大学進学のための学力をつけることだ。そのために日々の授業を真面目にこなし、予習復習をきちんとやって、学力を高めていきたいと思っている。授業は中学の時と比べると難しく、ついていくのが大変だが、中学の時は全然やってなかった予習や復習を少しずつやるようにすると、だんだん理解できるようになってきた。

それに如水館高校には、中学の時になかった楽しそうな行事が多いので、せっかく如水館に入ったからには、そういった行事も充分に楽しみたいと思う。

まだ入学して一ケ月だが、だんだん慣れてきたので、これから充実した高校生活を送っていきたいと思う。　▲▲

ピッコロだより

（知的障害者授産施設）

夏は緑のカーテン ゴーヤ・ヘチマを

梅雨入りの声を聞くこの頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この春は野菜を中心とした苗の栽培をし、花を求めて来て下さった方には申し訳ありませんでした。

六月にはいると緑のカーテンとして最高のゴーヤ、ヘチマ、きゅうりなど、花苗は、サルビア、メランポデューム、百日草、松葉ボタン等花苗も出回ってきています。野菜苗一色から、色とりどりの花に。又、ハウスの方に足を運んで頂けると嬉しく思います。

ハウスの中はサウナ状態が続きます。〝暑い〟と言いながらも、ピッコロの皆は作業に専念しています。　▲▲